



2025年10月10日

各位

会社名 株式会社 チョダ
代表者名 代表取締役社長 町野 雅俊
(コード番号 8185 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役管理本部長 井上 裕一郎
(TEL. 03-5335-4134)

第2四半期(中間期)業績予想(連結・個別)と実績値との差異および
通期業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

2025年4月11日に公表しました2026年2月期第2四半期(中間期)業績予想(連結・個別)と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2025年4月11日に公表しました2026年2月期通期業績予想(連結・個別)について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

1、2026年2月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異(2025年3月1日~2025年8月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する中間純利益 (百万円)	1株当たり 中間純利益 (円)
前回発表予想(A)	44,000	2,200	2,300	1,700	48.32
実績値(B)	41,830	1,379	1,494	921	26.46
増減額(B-A)	△2,169	△820	△805	△778	—
増減率(%)	△4.9	△37.3	△35.0	△45.8	—
(ご参考)前中間実績 (2025年2月期第2四半期)	48,854	1,614	1,829	1,588	45.16

2026年2月期第2四半期個別業績予想と実績値の差異(2025年3月1日~2025年8月31日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	中間純利益 (百万円)	1株当たり 中間純利益(円)
前回発表予想(A)	43,000	2,420	1,854	52.70
実績値(B)	40,808	1,346	842	24.18
増減額(B-A)	△2,191	△1,073	△1,011	—
増減率(%)	△5.1	△44.4	△54.6	—
(ご参考)前中間実績 (2025年2月期第2四半期)	41,373	2,358	2,053	58.39

2、2026年2月期通期連結業績予想の修正（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想（A）	86,000	3,600	3,800	2,750	78.17
今回修正予想（B）	81,850	1,700	1,950	1,000	29.07
増減額（B－A）	△4,150	△1,900	△1,850	△1,750	－
増減率（％）	△4.8	△52.8	△48.7	△63.6	－
（ご参考）前期通期実績 （2025年2月期）	91,835	2,193	2,566	2,923	83.11

2026年2月期通期個別業績予想の修正（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想（A）	84,000	3,740	2,752	78.22
今回修正予想（B）	79,400	1,600	750	21.81
増減額（B－A）	△4,600	△2,140	△2,002	－
増減率（％）	△5.5	△57.2	△72.7	－
（ご参考）前期通期実績 （2025年2月期）	80,060	3,152	2,832	80.52

3、修正の理由

（連結業績予想）

上半期は、プライベートブランド「スパットシューズ」の成長を戦略的に推進し、その認知拡大に向けて販促活動を強化しました。その結果、「スパットシューズ」は前年に対して170%以上の売上を達成し、伸ばしましたが、一方で、それ以外の商品の売上が計画に対して約90%になり、想定以上に低迷しました。また、ナショナルブランドの構成比やカテゴリーの見直しを行いました。売上高は想定に至りませんでした。これらの要因により、売上高は計画を2,170百万円下回る結果となりました。販管費については計画より抑制しましたが、売上総利益額の減少を補うには至らず、営業利益は計画に対して821百万円の減少となりました。

下半期は、販促施策の見直しによる集客の改善や紳士靴卸販売を行うオークニジャパンの事業譲受による売上の増加、販売費を中心とした経費の見直しにより販管費の削減は見込まれるものの、戦略の修正による客数の回復は遅れることが想定されるため、売上高は当初計画を1,980百万円下回る見通しです。また、在庫の積み上がりによる処分、および、販促施策を推進することから、売上総利益率の低下により売上総利益額が約300百万円減少することが見込まれ、結果として営業利益は当初計画に対して1,079百万円下回ることが想定されます。

以上の結果、営業利益、経常利益、当期純利益が、2025年4月11日発表の予想を下回る見通しとなりましたので、通期の業績予想を修正いたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表時点において収集可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上